

シグネチャーパビリオン

「いのちを守る」



映画作家
河瀬 直美

Dialogue Theater -いのちのあかし-



©Naomi Kawase, All Rights Reserved.

シアターでは、初めて出会う全く相手のことを知らない2人が対峙して、一期一会の対話を行うことができます。

パビリオンは十津川村の旧折立中学校と、福知山市の旧細見小学校中出分校の校舎を移設してリノベーションします。

©Naomi Kawase / SUO, All Rights Reserved.

「いのちをつむぐ」



放送作家、京都芸術大学副学長
小山 薫堂



EARTH MARTの「いのちの売り場」。一生に食べる卵の量など食にまつわるデータをスーパーマーケットのように表現しています。

全国各地から集められた茅で作られた茅葺き屋根の集落をイメージした外観。

©EARTH MART / EXPO2025

「いのちを育む」



アニメーション監督、メカニックデザイナー、
ビジョンクリエーター
河森 正治

いのちめぐる冒険



シンボルマーク『いのち球』は、美しいいのちの輝きと宇宙・海洋・大地に宿るあらゆる生きもののつながりを表しています。

大小のセルで構成されたパビリオンの外壁は再利用可能な海水コンクリートパネルを使用しています。

©2024 Shoji Kawamori/Office Shogo Onodera, All rights reserved.

©2023 Shoji Kawamori / Vector Vision All rights reserved.

「いのちを響き合わせる」

Better Co-Being



万博会場中央にある「静けさの森」の一角にある、屋根も壁もないパビリオンです。

©SANAA

河瀬 直美
プロデューサー

小山 薫堂
プロデューサー

河森 正治
プロデューサー

福岡 伸一
プロデューサー

「いのちを知る」

いのち動的平衡



中は柱や梁がなく、周囲のリング状のパイプで支えられている細胞膜をイメージしたパビリオン。

©DYNAMIC EQUILIBRIUM OF LIFE / EXPO2025